

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有ロックウール吸音天井板 ロックウール天井板（またはロックウール吸音天井板）
---------------------	--

規 格 等

- ・JISA 6301 吸音材料 - (ロックウール吸音材) - (ロックウール吸音ボード)

製造期間

- ・製造開始は、1961年である。(それぞれの商品の生産期間が比較的短く、3~4年から長くて14~15年である。)
- ・製造終了は、1987年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・ロックウールは、高炉スラグや玄武岩などを主原料にし、けい石などを添加した後、キュボラ炉や電気炉等で1500~1600の高温で熔融し、熔融物を流出させながら遠心力を利用し4~7 μ m程の細い繊維状にしたものである。
- ・このロックウールに少量のバインダー等を混ぜて抄造法で成形した原板に模様加工と化粧塗装を施し、製品化したものがロックウール化粧吸音板である。
- ・軽量であり、不燃性、吸音性能に優れている。
- ・一般建築物・事務所、学校、講堂、病院等の医療施設等の天井に不燃・吸音天井板として多く使用されている。
- ・種類

形状

平板（主に300×600）
鋼製下地材システム天井用（15t×400w×L）
軒天井用（各社統一寸法なし）
平板の端部を加工（本実タイプ：住宅用）

意匠

トラバーチン（フィッシャー、エンボス、ピン）
プレーン（ピン模様）
キューブ、リップ等の立体調
立体プレス柄等
表面塗装仕上げ（主に白色系が多い）

基材色調

白、灰白色、淡黄等多様

・寸法

厚さ (mm)	幅 × 長さ (mm)	施工法
9 12 15	300 × 600 (303×606もある)	捨貼り工法
19	300 × 600	同上
15	375 × L 400 × L 600 × 600 640 × 640 その他	システム工法 (金具による施工)

○主な施工部位、使われ方など

- ・内装材として天井材、外装材としては軒天井材に使用されている。
- ・施工法として次の例がある。

捨貼り工法：石膏ボード下地材（厚さ9.5~12mm）をタッピングねじで留め、その上にロックウール化粧吸音板をステーブルと接着材を併用して施工し、貼上げる。

直貼り工法：金属製の専用野縁（スリットバー）にロックウール化粧吸音板を接着し、釘と併用で貼上げるが、不陸等がでて仕上げが難しいため、昭和50年代以降この施工法は採用されていない。
システム工法：鋼製下地材を組み、Hバーを用いてTバー上にシステム天井板を載せる方法等がある。
15×400×Lのライン・長尺、15×600×600の落とし込み・グリッドタイプ等がある。

施工例



リフォーム（メンテナンス）関連

- ・模様加工、化粧塗装などの表面が汚れた場合、アクリル系エマルジョン塗料で再塗装する例がある。
-